



KSK あまねだより



(額価 20 円)

発行 神奈川県障害者定期刊行物協会
222-0035 横浜市港北区鳥山町 1752
障害者体^{たい}文化センター横浜ラポール 3階
横浜市車椅子の会内
編集 あまね共同作業所
239-0805 横須賀市舟倉 1-12-1
TEL 046-835-0723 FAX 046-833-4062
2019年12月6日 第429号

- 障害者自立支援法違反訴訟の基本合意 10 周年全国集会に参加して -

年が改まり、瞬く間に1月が終わろうとしています。どうぞ今後一年も宜しくお願ひ致します。

まだ、松の内の1月7日、参議院議員会館講堂において、全国から400名以上の障害当事者・家族・関係者が集まり、障害者自立支援法違憲訴訟の基本合意(2010年1月7日)からの10年間を振り返り、違憲訴訟と基本合意の意義、活動の到達点と今後の方向について、その後訴訟を起こした、優生保護法の関係者・65歳問題の問題提起をされた浅田訴訟弁護団など幅広い参加者と共に問題意識を共有し確認する機会を持ちました。

2003年に支援費制度がはじまり措置から契約へと大きく舵がきられ、それによってサービス利用が大幅に増大しました。その結果として財政が破綻しすぐに新たな制度として2006年に障害者自立支援法が施行されることとなりました。自立支援法の問題点は、利用料がそれまでの応能負担(払える能力がある人が支払う)から応益負担(サービスを受けると原則利用料が徴収される)に変更されたことです。この応益負担は、憲法違反であるとし、全国の障害者が一斉免除申請行動を起こしましたが、棄却されたことで、全国一斉行政不服申立をし、更に2008年10月31日に全国8か所の地方裁判所に自立支援法違憲訴訟を30名の原告が提訴しました。この提訴は3次に及び原告71名が14か所の裁判所に及びました。2009年9月の長妻厚生労働大臣が自立支援法の廃止を表明し2010年1月10日に自立支援法違憲訴訟団と政府で基本合意を締結しました。

基本合意締結以降、総合福祉部会の委員(多くの当事者の方が参加しました)55名でこれからの福祉の枠組みを定め、新たな障害者総合支援法をつくるための骨格に関する提言【骨格提言】をまとめました。しかし、2012年6月に成立した法律は自立支援法を廃止することなく微調整にとどまり「総合支援法」という名称で今日に至っています。

今回、改めて骨格提言をもとに作られた総合支援法を見てみると、自立支援法には存在しなかった「憲法等に基づく基本的人権のために障害者福祉制度がある」という考え方のもと、第1条(法の目的)

基本的人権を享有する個人としての尊厳にふさわしい日常生活や社会生活を営むことが出来るよう、必要な障害福祉サービスに係る給付」を行うもの規定され、第1条の2(基本理念)においては「等しく基本的人権を享有するかけがえのない個人として尊厳されるものであるとの理念にのっとり(略)どこで誰と生活するかについての選択の機会が確保され、地域社会において他の人々と共生することを妨げられない」と新たに規定されたことも、基本合意文書の大きな成果であることがわかりました。

もう一つ、今回の集会に参加して、基本合意がなされた約束の一つとして定期協議の開催があり、その中で入院時ヘルパー利用や勘案事項の見直し＝家族支援を前提としての支給量の削減がない仕組みの在り方、重度訪問介護の拡大【はたらく場での利用を可能とする】障害者雇用の水増し問題や優生保護法の問題なども指摘がされてきたことです。

会場を埋め尽くした当事者の方の熱気のなか、ともすれば日常の支援で忘がれがちになってしまいますが、改めて基本合意の大切さと、「基本合意」を守らせる運動を粘り強く実施していかなければ…と思いました。 (海原・記)

(海原・記)

-道草-の上映を見て-

NPO 法人フローラの方が自主上映をした「道草」を見てきました。グループホームではない、介護者付きで一人暮らしをする障害者の日常を淡々と描いていました。上映終了後、「あ～自然だな～」と心が温かく感じました。機会がありますたら是非見て下さい。

資源回収ご協力ありがとうございます

12月審査分け

20841 5kgでした

(奨励金は83,300円)

次回の日程は別紙にて

お知らせします。
問い合わせは9：00以降にお
願いいたします。

戸所様・加藤様・久里浜教会教会学校様
小原様・藤森様・加藤様・岡本様・宮崎様
新井様・下里様・吉田様・横溝様・黒田様
馬場様・慈眼院様・正覚寺様・斎藤様

松本様

(順不同)

資源回収の折、バザー用品や寄付などを頂きます。お名前を記せませんが、有効に活用させて頂きます。

[後編] 二三

☆バザーの予定	3日	グループホーム連絡会
	4日	管理者会議
	5日	グループ活動
	7日	資源回収 岩戸・池田
	8日	資源回収 舟倉・若宮台
	20日	作業所連絡会定例代表者会議
	21日	職員会議
		クラブ活動



作業所の一日 ~ビンテージあまね



偶然でしょうか?今年も節分を迎えるこの時季に、あまねだより原稿当番が巡ってきました。ちょうど一年前、「感謝」と題して節目を迎えるあまねの状況をお話しましたが、あれから一年…。あれからを、書くの? ?(-_-;) 書き始められず、今日がどうどう原稿締め切り前日です。ギリギリになりやっとパソコンを開いております。今回は、自分の気持ちを整理するために書こう。皆さま、お付き合い願います。

生活介護あまねでは職員の退職が相次ぎ、欠員が埋まらないまま現状を凌いでおります。法人あまねの他のセクションでも同じような状況が見られるようになり、昨年5月のきょうされん神奈川支部総会で本部職員から報告された「全国的に障害福祉現場は人手不足。職員の離職が止まらない状況」が、いよいよあまねでも現実味を帯びてきました。

先日、茜洋舎の高谷氏を講師に迎えて、あまね父母研修会が開かれました。その中で高谷氏は「私は、職員が一番大事だと思います。利用者さんとご家族が大事なのは当たり前。職員の労働環境を整備する。プライベートを大事にすると宣言しました」とお話がありました。職員の労働環境の向上が利用者さんへの支援の向上に繋がるということ。あまねも所長たちが努力して労働条件の整備を進めてくれましたが、もう一步進めて、あまね共同作業所だった頃の(旧)やりがいではなく(新)やりがいを感じて、この仕事に従事できる環境づくりが、今問われているのだろうと思いました。

職員が定着しない状況を観察し、私なりに少し見えたことがあります。見えたことが正解かどうかも分かりませんが、それでも気付いたことを改善するべく努めています。

今は大変な状況で、パート職員さんも含め全員が踏ん張ってあまねを支えてくれています。外から見たらガッタガタの生活介護あまねではありますが、内から見ると、まさかの ONE TEAM(ワンチーム)状態です。皆淡々と仕事をこなしておりますが、職場の移動を受け入れてくれたり、新しい仕事を担ってくれたり、一人ひとりの協力があって何とか日々が回っています。一年前と同じく、やっぱり感謝しかありません。

そんな中での、仲間たちの様子もお伝えしますと、先日は皆で成人を祝う会を開き、今は個別支援計画の面談を各々に進めているところです。仲間たちこそ色々感じているだろうに、変わりなく過ごしていくことが有難いです。

成人を祝う会について少しお話します。1月24日、総合福祉会館7階音楽室にて

開催しました。今年成人を迎えたのは、福原建(ふくはらたける)さんと八木虎之佑(やぎとらのすけ)さんのお二人。元気のいい二人が主役なので、広い場所でやろうか?!ということになり、今回初めて音楽室で行いました。式典看板は書道クラブと美術クラブで作り、皆で作ったお祝いオーナメントを飾って、テーブルと椅子を設営しました。「八木君と福原君のスーツ、靴とネクタイ、かっこよかった!」とワークハウスの仲間から感想が聞かれましたが、その通り…お洒落で凛々しいお二人でした。午後はテーブルと椅子を撤収して、広い空間で○×クイズとじゃんけん列車を楽しみました。お二人のお母さまもラジオ体操からじゃんけん列車までご参加いただき、有難うございました!

最後に新成人になったお二人から「ありがとうございました」と、晴れやかな言葉と笑顔でお礼を頂いた時に、何だろう?私は一瞬泣きたい気持ちで笑っていました。嬉しかった。そして、謝りたかった。こんなバタバタの中での開催になったことを。私の気持ちには雲がかかり、本当は晴れやかな席に追いつげずにいたことを。でもそんなこと全然関係なく、新成人は輝いていて、それが眩しくって泣けました。

今あるものを壊さなくちゃ新しいものは生まれない。その意味であまねは今、壊れているのだと思います。旧と新が、需と供がクラッシュして壊れているのかな。名残惜しいけれど、幸せだったけれど、この先へは持っていくから壊すしかない。痛い話です。私たちのこの痛みも、新成人お二人の晴れやかな笑顔と“ありがとう”も、時間の中で熟成し、いつか「ビンテージあまね」となって同じ味わいになれたら最高だな。もうひとつ広がった新しい幸せを、そこでみんなが味わっていたら、最高だな!

気持ちが上向きになってきました。ここでお終いにします。皆さま最後までお付き合いいただき有難うございました。

(記・市川)

手作り
クッキー
販
売
中

あまねクッキーはこちらで販売中!
↓ ↓
•横須賀市役所1階
ともしひショップ「マリン」
•県立保健福祉大学
ともしひショップ「みらい」
•くいけま花の園「コスモス館」
•湘南整体くいけま
•あまね作業所
•ワークハウスあまね

ぜひ、お立ち寄りください!~♪
お問い合わせ「ワークハウスあまね」
☎046-837-8194

ふきん販売に
ご協力ください!
布地8枚重ね 3枚組
660円
ご注文は作業所まで
046-835-0723